



2024年6月期第3四半期 決算説明会資料

株式会社インテリジェント ウェイブ

2024年5月10日

2024年6月期 3Q 業績と成果

2024年6月期 業績予想

2024年6月期 注力施策

参考資料

2024年6月期 3Q累計 業績サマリー

売上高は前年のFEPシステム更改に伴う大型ハードウェア販売の反動減があったものの、システム開発、クラウドサービス、セキュリティの伸長で増収となり、利益も大幅増益となった。受注高は前年にクラウドサービスの長期複数年契約があったが、セキュリティやシステム開発の受注が増加、受注残高も二桁増加

単位：百万円

	23年6月期 3Q累計		24年6月期 3Q累計		増減	前同比
	金額	売上比	金額	売上比		
売上高	9,896	-	10,751	-	+855	+8.6%
売上総利益	3,120	31.5%	3,478	32.4%	+358	+11.5%
販売管理費	1,984	20.0%	1,982	18.4%	△2	△0.1%
営業利益	1,136	11.5%	1,496	13.9%	+360	+31.7%
経常利益	1,157	11.7%	1,503	14.0%	+346	+29.9%
当期純利益	780	7.9%	1,027	9.6%	+247	+31.7%
受注高	11,881	-	13,773	-	+1,892	+15.9%
受注残高	11,548	-	13,995	-	+2,447	+21.2%

※：FEP（Front-End Processor）システム：クレジットカード決済処理に必要なネットワーク接続やカードの使用認証等の機能をもつハードウェア、及びソフトウェア

2024年6月期 3Q累計 製品カテゴリ別売上高

「決済・金融」のシステム開発、クラウドサービス、セキュリティの売上高は前同比で大幅に拡大。他社製品は前年にFEPシステム更改に伴う大型ハードウェア販売があったため減少

単位：百万円

	23年6月期 3Q累計	24年6月期 3Q累計	増減	前同比
売上高	9,896	10,751	+855	+8.6%
決済・金融	7,743	7,745	+2	+0.0%
システム開発	4,314	5,114	+800	+18.5%
保守	1,230	1,210	△20	△1.6%
自社製品・サービス	315	229	△86	△27.3%
他社製品（ハードウェア等）	1,882	1,191	△691	△36.7%
クラウドサービス	1,351	1,799	+448	+33.2%
セキュリティ	801	1,207	+406	+50.7%

※：FEP（Front-End Processor）システム：クレジットカード決済処理に必要なネットワーク接続やカードの使用認証等の機能をもつハードウェア、及びソフトウェア

2024年6月期 3Q累計 事業領域別売上高

決済分野の拡大領域である「決済システム等」は、クレジットカード会社向け大型案件により増加。「FEP・不正検知」「金融・その他」は、前年に大型ハードウェア販売があったため減少。クラウドサービスは、カード不正利用検知サービスのユーザー数増加で伸長。セキュリティは、今期は鍵管理システム（HSM）、ID管理ソリューションなどの販売が貢献し増加

単位：百万円

	23年6月期 3Q累計	24年6月期 3Q累計	増減	前同比
売上高	9,896	10,751	+855	+8.6%
決済・金融	7,743	7,745	+2	+0.0%
FEP・不正検知	5,118	4,227	△891	△17.4%
決済システム等	1,952	2,934	+982	+50.3%
金融・その他	672	583	△89	△13.2%
クラウドサービス	1,351	1,799	+448	+33.2%
セキュリティ	801	1,207	+406	+50.7%

※：FEP（Front-End Processor）システム：クレジットカード決済処理に必要なネットワーク接続やカードの使用認証等の機能をもつハードウェア、及びソフトウェア

2024年6月期 3Q累計 顧客別売上高

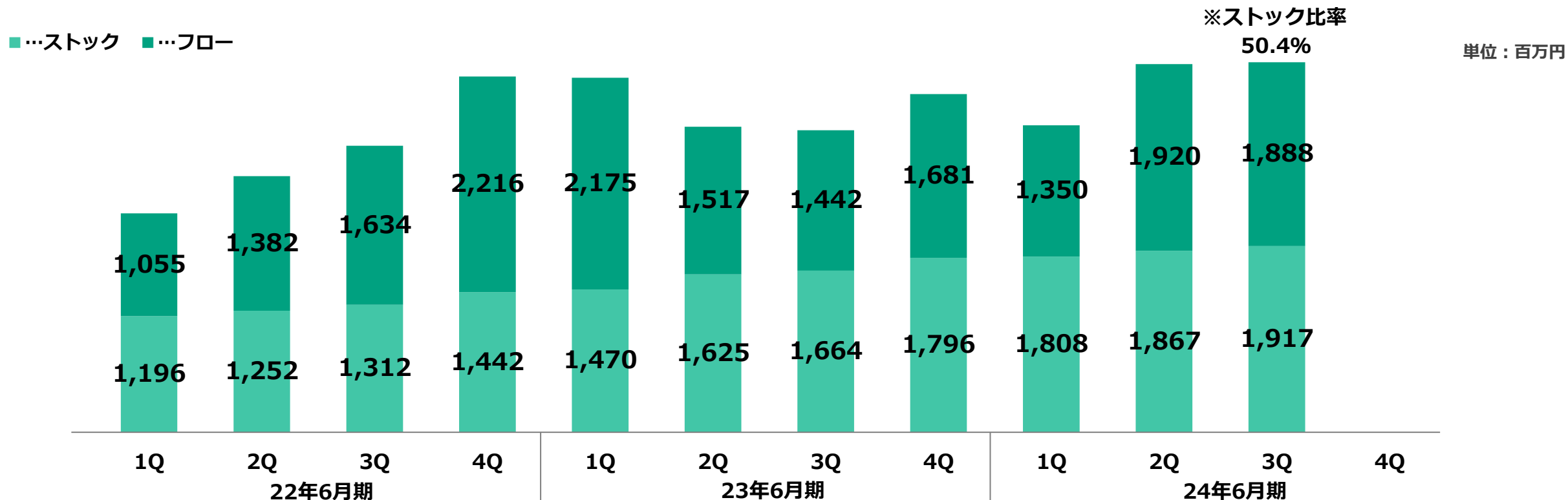
「DNP」は、セキュリティ製品を中心に増加。「システム開発会社」は、クレジットカード会社向け大型案件により増加。「カード会社」は、FEP・不正検知、決済DX等の複数領域でシステム開発の規模を拡大し増加

単位：百万円

	23年6月期 3Q累計	24年6月期 3Q累計	増減	主な案件
1. D N P	1,248	1,332	+84	TSP開発（スマートフォン決済） システム運用（24/365） 鍵管理システム
2. システム 開発会社	824	1,205	+380	クレジットカード会社向けシステム開発等
3. カード会社	449	741	+291	複数領域におけるシステム開発等（FEP・ 不正検知、決済DX）

2024年6月期 3Q ストック/フロー売上高

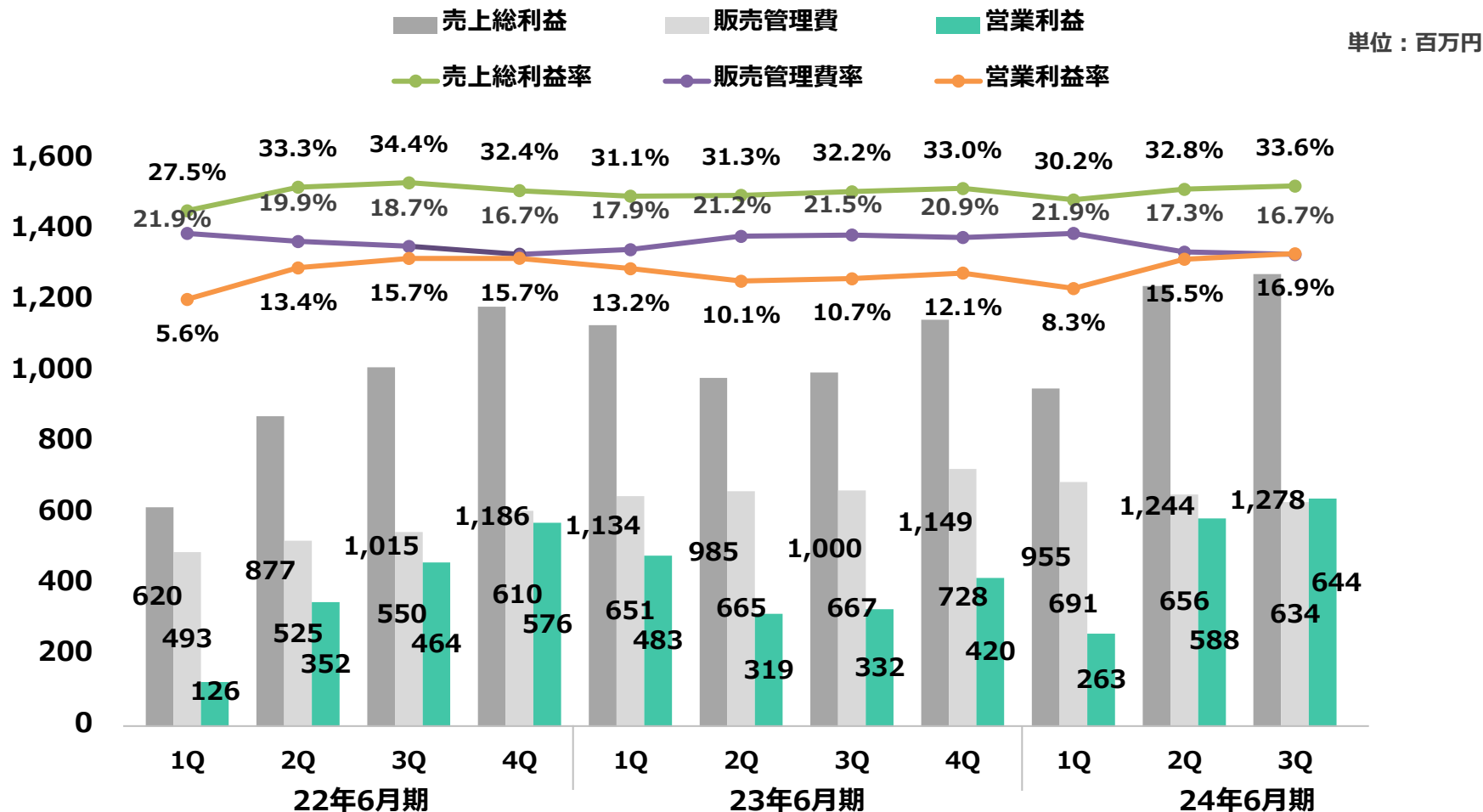
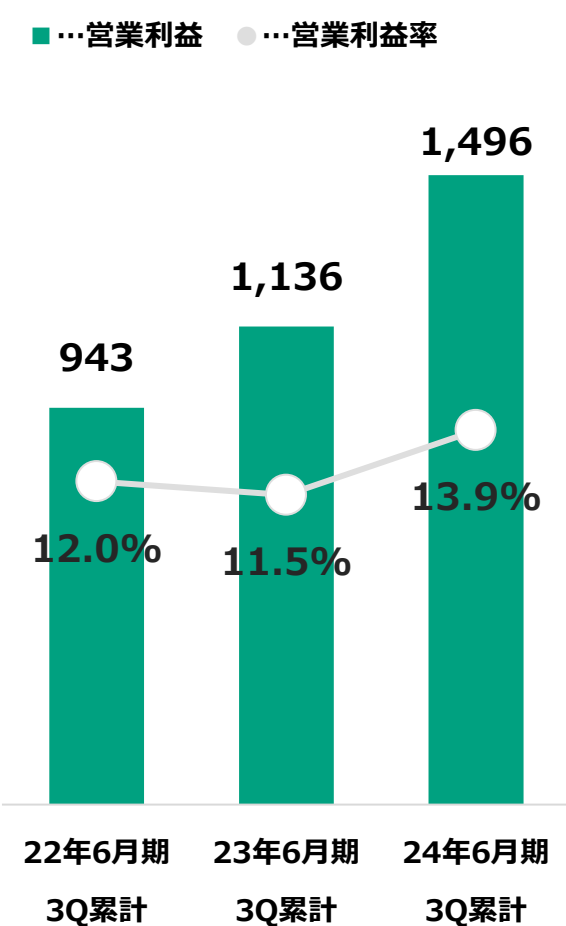
クラウドサービスの売上高増加により、ストック売上高は着実に増加。今後はシステム開発等のフロー売上高の拡大と合わせ、規模拡大を目指す



ストック：契約の形態や業務の実態等から判断して、定常的に一定規模の売上高を計上できる案件
 (クラウドサービスやセキュリティ製品の利用料、システム運用保守、自社製品や他社製品の保守等)
 フロー：契約の規模や成立時期が定常的ではない案件
 (システム開発、自社製品や他社製品の販売等)

2024年6月期 3Q 営業利益

売上総利益は、システム開発やクラウドサービスの売上増加や利益率改善により増加。販売管理費は、コストの最適化を図り前年同期並みとなり、通期計画に対しても順調に進捗



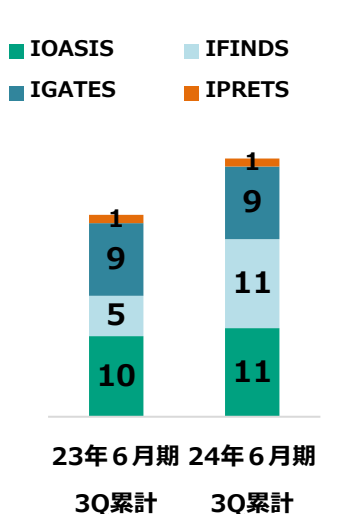
2024年6月期 3Q クラウドサービス

売上高は、カード不正利用検知の「IFINDS」を中心にユーザー数が前同比で7社増加し大幅増収。売上総利益は、増収や粗利率の高いサービスの構成比が上がったこと等により、大幅増益。受注高は、前年に長期複数契約があったため減少したが、受注残高は増加

	2023年6月期				2024年6月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
受注高	507	822	2,794	297	614	969	890	
売上高	434	447	469	515	592	587	618	
受注残高	4,214	4,589	6,913	6,695	6,717	7,098	7,371	
売上総利益	△4	29	44	71	96	84	94	

単位：百万円

■ 導入社数



■ 各サービスの概況

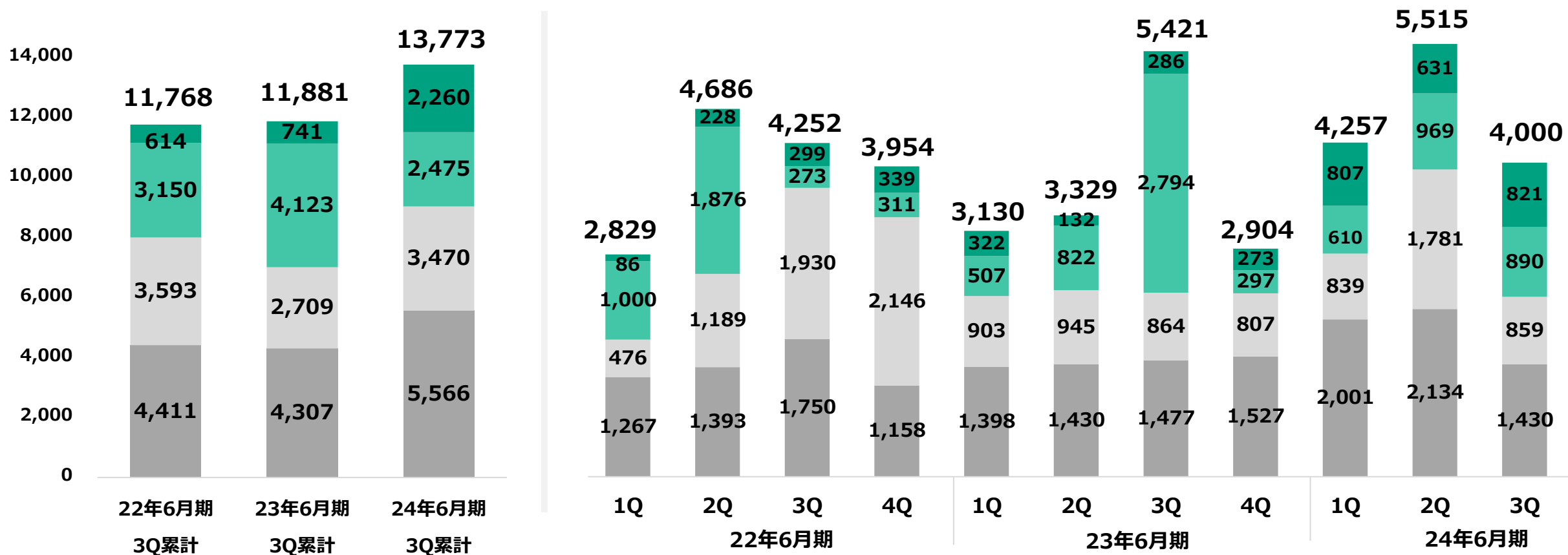
サービス名	概況
IOASIS	既存顧客の機能追加、取引量増加対応等が増加。新規では地銀を中心に引き合い増加
IFINDS	カード不正利用のAI分析データを共有する「FARIS共同スコアリングサービスPowered by PKSHA Security」の導入社数が増加。次世代不正対策プロジェクト「FARIS」において、順次新サービスを投入
IGATES	大規模の業界横断の共同利用型プラットフォーム開発を受注（2024年秋頃開始予定）

受注高

「決済・金融」は、クレジットカード会社向け大型案件や、インフラ保守・運用の大型案件等により増加。クラウドサービスは、前年に長期複数年契約があったため減少。セキュリティは、既存のセキュリティ製品に加え、鍵管理システム（HSM）、ID管理ソリューションなどが増加

単位：百万円

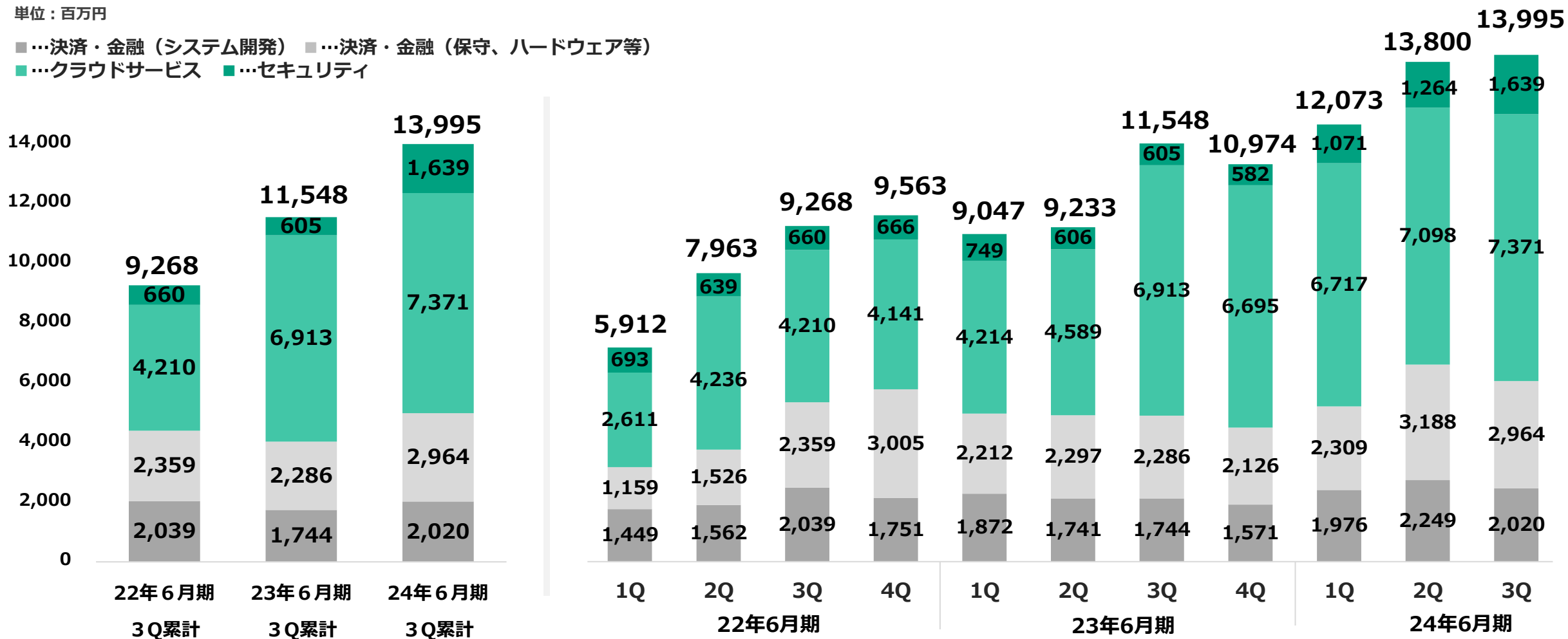
■ …決済・金融（システム開発） ■ …決済・金融（保守、ハードウェア等）
 ■ …クラウドサービス ■ …セキュリティ



クレジットカード会社向け大型案件および、インフラ保守・運用の大型案件、クラウドサービス、セキュリティの複数年契約などが貢献し、大幅増加

単位：百万円

■ …決済・金融（システム開発）
 ■ …決済・金融（保守、ハードウェア等）
 ■ …クラウドサービス
 ■ …セキュリティ



2024年6月期 3Q 業績と成果

2024年6月期 業績予想

2024年6月期 注力施策

参考資料

2024年6月期 業績予想

期初の業績予想からの変更なし

単位：百万円

	23年6月期実績			24年6月期予想			対前期比
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	
売上高	6,789	6,585	13,374	7,000	8,000	15,000	+12.2%
決済・金融	5,393	5,015	10,408	5,160	5,840	11,000	+5.7%
クラウドサービス	881	985	1,867	1,190	1,310	2,500	+33.9%
セキュリティ	514	583	1,098	650	850	1,500	+36.6%
営業利益 (率)	803 (11.8%)	753 (11.4%)	1,556 (11.6%)	850 (12.1%)	1,400 (17.5%)	2,250 (15.0%)	+44.6%
経常利益 (率)	824 (12.1%)	778 (11.8%)	1,603 (12.0%)	870 (12.4%)	1,420 (17.8%)	2,290 (15.3%)	+42.9%
当期純利益 (率)	558 (8.2%)	607 (9.2%)	1,165 (8.7%)	600 (8.6%)	990 (12.4%)	1,590 (10.6%)	+36.5%

売上高は、大型案件を中心としたシステム開発、セキュリティ等の増収により、通期計画の達成を目指す。利益も売上増加に加え、システム開発の生産性向上等により、通期計画の達成を目指す

単位：百万円

	23年6月期実績			24年6月期予想			前同比 (通期)
	3Q累計	4Q	通期	3Q累計実績 ※①	4Q計画 (②-①)	通期計画 ※②	
売上高	9,896	3,478	13,374	10,751	4,249	15,000	+12.2%
決済・金融	7,743	2,665	10,408	7,745	3,255	11,000	+5.7%
システム開発	4,314	1,700	6,015	5,114	2,236	7,350	+22.2%
保守	1,230	408	1,638	1,210	580	1,790	+9.3%
自社製品・サービス	315	189	505	229	271	500	△1.0%
他社製品 (ハードウェア等)	1,882	367	2,249	1,191	169	1,360	△39.5%
クラウドサービス	1,351	515	1,867	1,799	701	2,500	+33.9%
セキュリティ	801	296	1,098	1,207	293	1,500	+36.6%
営業利益 (率)	1,136 (11.5%)	420 (12.1%)	1,556 (11.6%)	1,496 (13.9%)	754 (17.7%)	2,250 (15.0%)	+44.6%

2023年6月期 3Q 業績と成果

2024年6月期 業績予想

2024年6月期 注力施策

参考資料

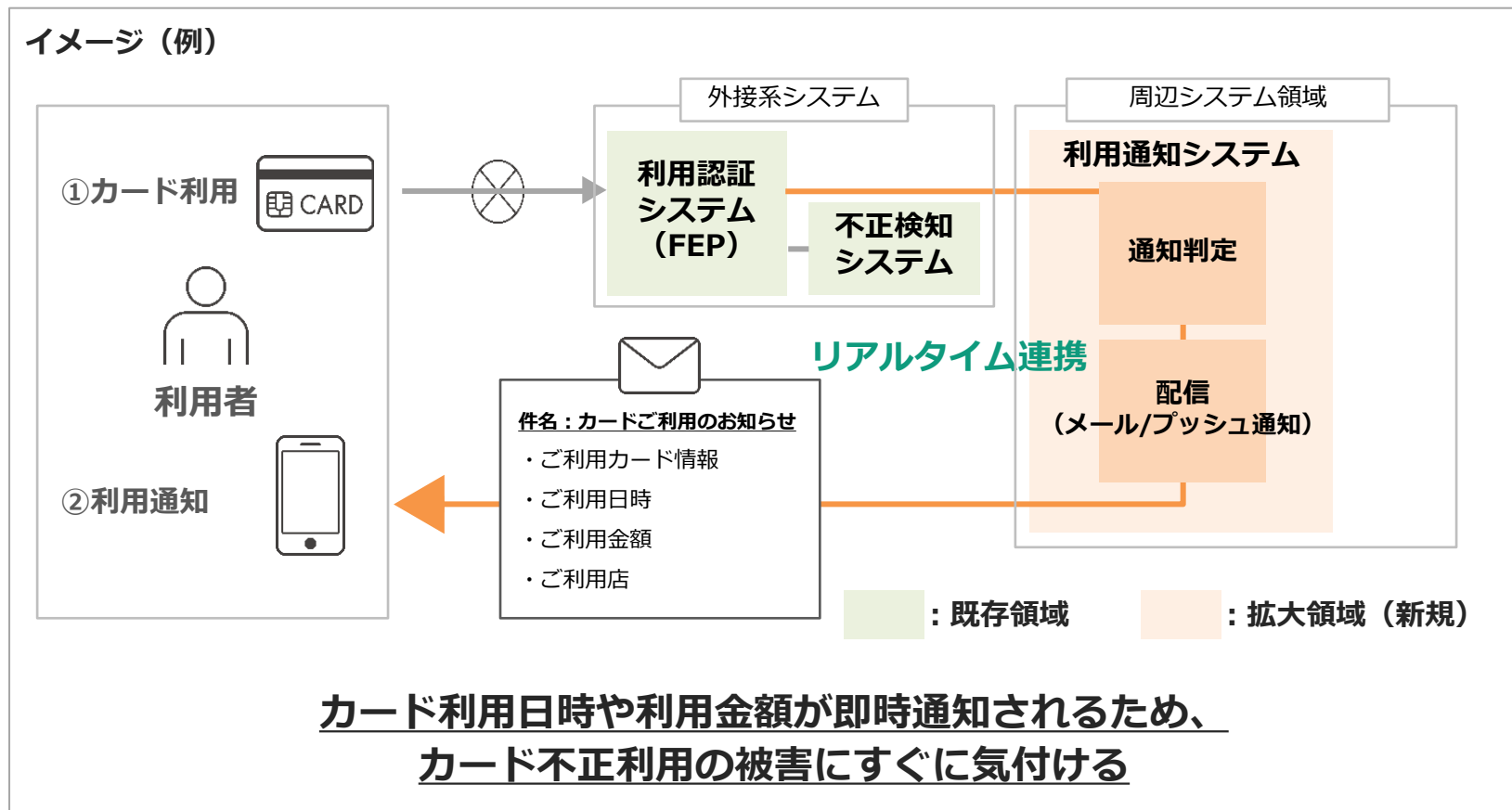
決済事業領域の拡大（決済DX）

カード利用直後に、利用者へ即時通知する「カード利用通知システム」を開発。FEP・不正検知のリアルタイム処理技術を活用した新たなパッケージ製品で、大手カード会社1社に導入済み。カード不正利用防止への活用のほか、将来的には他のシステムとも連携させることで、マーケティング活用等の新たな領域展開も目指す

■カード利用通知システム概要

自社開発のカード不正利用検知システム「ACEPlus」の技術をもとに開発。
FEP・不正検知のリアルタイム処理技術により、即時通知が可能

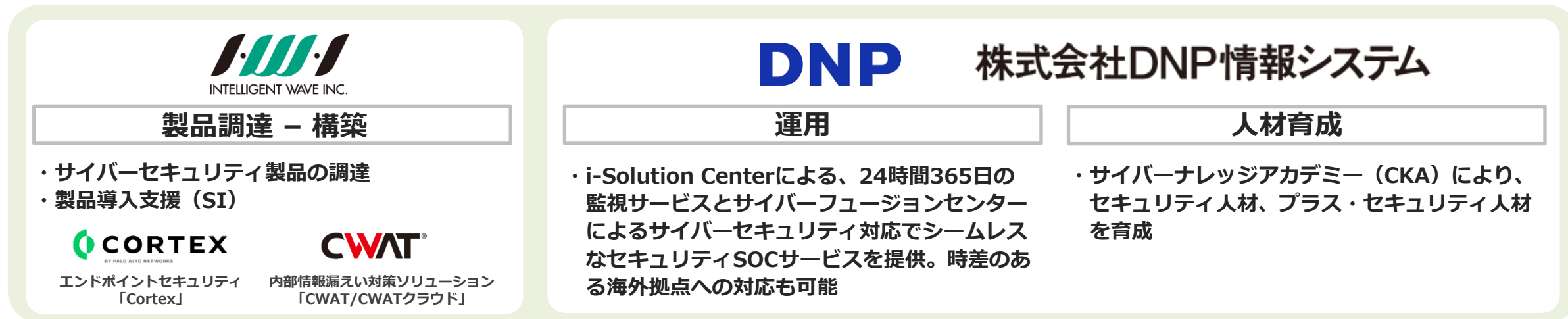
将来的には、通知のタイミングや内容といった情報を応用し、他のシステム等と組み合わせることで、効果的なキャンペーン情報配信等のマーケティング領域への展開も目指す



セキュリティ領域の拡大 DNPシナジー

セキュリティ領域の取扱製品について、当社が導入支援を担当し、導入後の運用はDNP情報システムが担当する体制を確立。24時間365日のサイバーセキュリティ運用体制が可能なDNP情報システムと協業することで、海外拠点をもつ企業への提案を加速する

■ IWI×DNPのセキュリティ支援体制



DNPグループ全体で、導入、構築から運用、社内人材育成まで一貫した体制を構築

■ 導入実績 (DNP海外拠点)

上記体制により、DNPの海外拠点にある端末約1000台に対し、約2カ月でセキュリティ製品の導入が完了。今回の実績による導入・運用ノウハウを活かしながら、海外拠点をもつ企業への展開を進める

放送業界向けIPフロー監視ソリューション「EoM」

放送業界向けIPフロー監視ソリューション「EoM」の引き合いが増加。特に海外における放送システムのIP化が進んでおり、国内に先行してPoC等のニーズが高まっている。米国でのイベント出展などプロモーションにも一層注力し、海外展開を強化

直近の活動

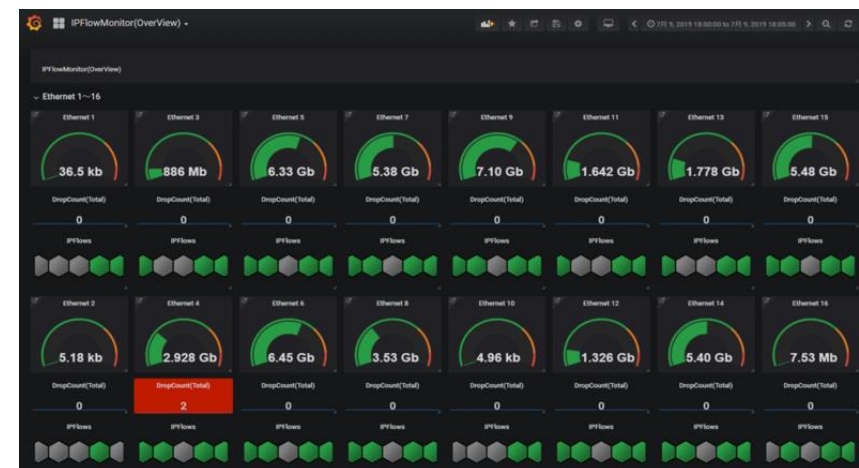
- ・ EBU（European Broadcasting Union：欧州放送連合）が実施する「Live-IP Sandbox プログラム」へ参加

EBUメンバー（ヨーロッパや北アフリカ等約100の放送事業者からなる）のライブIP技術に関する知識やノウハウ向上を目的としたプログラム。実際のIP放送システムを使用し、実践的なトレーニングを行う。当トレーニング用のシステムには「EoM」も組み込まれており、IPフロー監視の重要性が認識されている。

- ・ ヨーロッパ複数社でのPoCを実施中
- ・ 米ラスベガスでの国際放送機器展「NAB Show」へ出展、PoC依頼など引き合い増加

IPフロー監視ソリューション「EoM」とは

テレビ放送などの映像伝送において、通信の流れ（IPフロー）をリアルタイムに監視するツール。NHKと共同で2019年に開発し、2023年9月に国内特許を取得。米国では2022年に同様の特許を取得済み。



EoMの管理画面。様々な通信の状態を可視化する。

新規事業創出に向けた取り組み

新規事業創出の加速化を目的に、事業創出と事業育成を担う「ISAP（IWIスタートアップ・アクセラレーションプログラム）」と事業創出のための人財を育成する「BWI（Build with ISAP）」を発足。2019年より実施してきた「ビジネスアイデアコンテスト」を発展させて、新規ビジネス立ち上げのための仕組みを強化

ビジネスアイデアコンテスト (2019 - 2023)

人財育成・風土醸成

- ・年に一度全社員を対象としたコンテストを開催
- ・受賞者に対しては、報奨金を贈呈



ビジネスアイデアコンテスト

書類審査を通過した社員が、最終審査としてプレゼンを実施。審査員による評価・投票で受賞企画が決定される

提出件数を一つのKPIに、全社イベントとして実施。
新規事業創出に向けた人財育成や風土醸成が目的

新規事業創出に向け、2つのチームを発足

ISAP (アイサップ)
IWI Startup
Acceleration Program

新規事業創出・事業育成

- ・事業アイデア公募の企画運営・審査
- ・審査を通過したアイデアに対する、人脈や資金面での事業化支援

BWI (ビーダブリューアイ)
Build with ISAP

人財育成・企画支援

- ・社外の経営者や起業家らによるアイデア創出・育成セミナー
- ・アイデア企画設計に関する情報提供
- ・アイデア検討の伴走支援

審査および企画に
対するフィードバック



事業企画のブラッシュアップ支援

アイデア企画から事業化までの仕組みを強化。
新規事業を創出し、新たな事業基盤を確立することが目的

インテリジエントウェイブは、
ビジネスリライアビリティを実現し
持続可能な社会に貢献します。

2024年6月期 3Q 業績と成果

2024年6月期 業績予想

2024年6月期 注力施策

参考資料

2024年6月期 3Q 製造原価明細

単位：百万円

	23年6月期				24年6月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
材 料 費	21	6	13	9	10	7	9	
労 務 費	731	737	696	721	745	744	737	
経 費	486	517	512	519	569	667	661	
外 注 加 工 費	892	911	929	1,047	1,085	1,124	1,163	
当期総製造費用	2,132	2,173	2,152	2,298	2,411	2,544	2,571	
期首仕掛品棚卸高	257	317	262	276	216	269	227	
期末仕掛品棚卸高	317	262	276	216	269	227	275	
他勘定振替高	337	382	380	378	434	532	539	
当期製品製造原価	1,734	1,846	1,758	1,979	1,923	2,054	1,984	

2024年6月期 3Q 販売費及び一般管理費

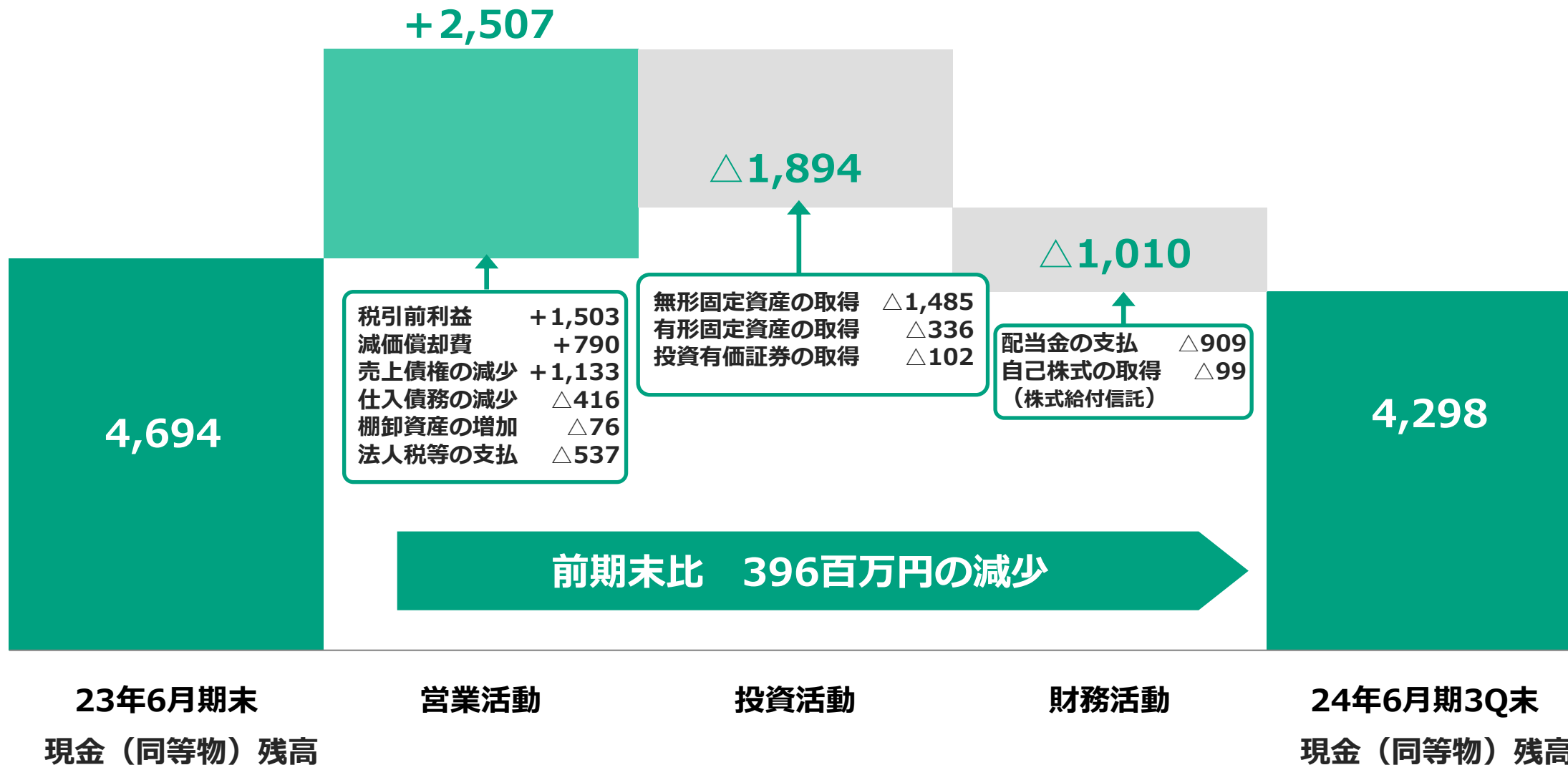
単位：百万円

	23年6月期				24年6月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
人件費	384	388	372	417	387	382	381	
採用・教育費	14	22	18	23	24	12	9	
設備・維持費等	120	118	125	133	127	108	113	
広告宣伝費	9	13	20	17	14	17	16	
その他	124	124	132	138	139	137	115	
合計	651	665	667	728	691	656	634	

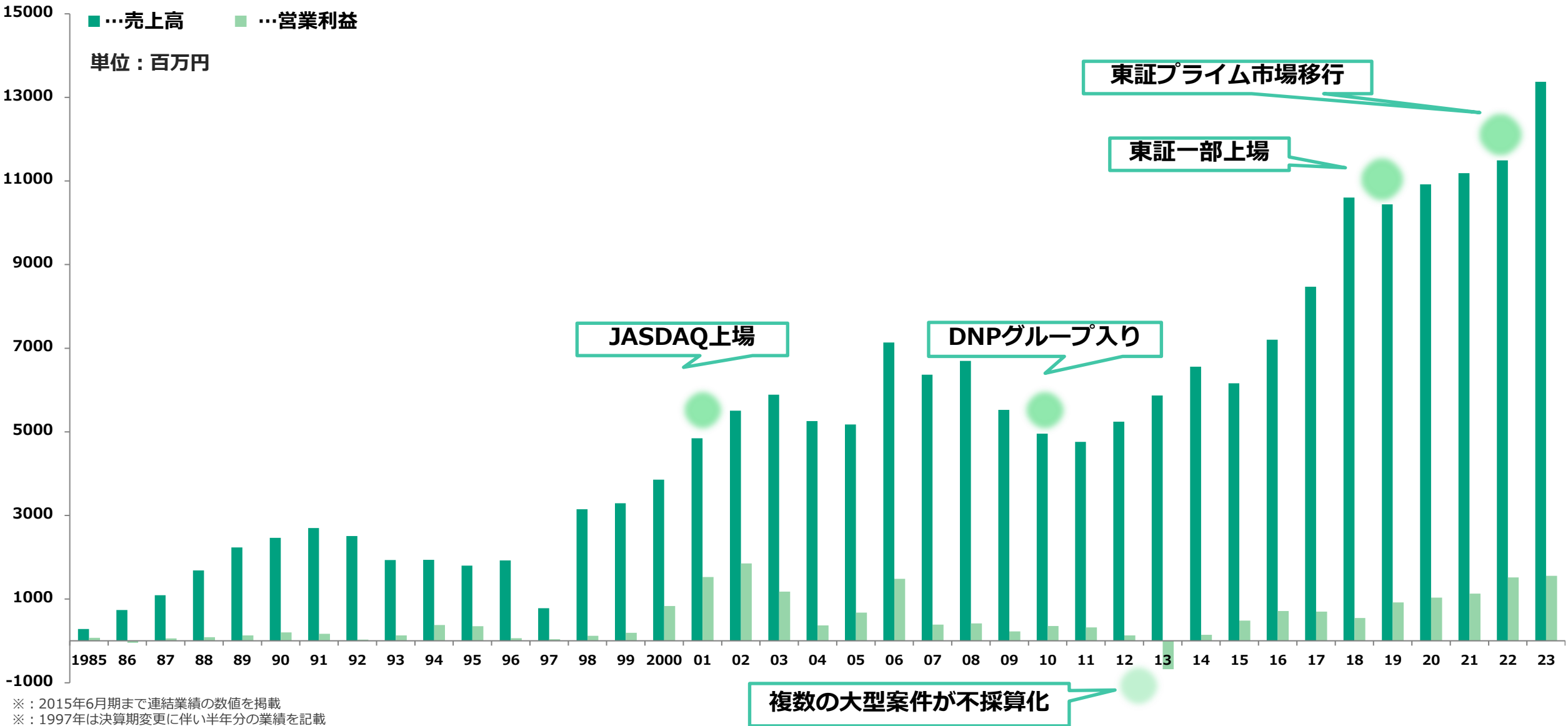
	23年6月期 3Q累計	24年6月期 3Q累計	増減
販管費	1,984	1,982	△2
		人件費	+4
		採用・教育費	△10
		設備・維持費等	△15
		広告宣伝費	+4
		その他	+15 (租税公課等)

2024年6月期 3Q キャッシュ・フロー

単位：百万円



長期業績推移



(2023年12月末現在)

設立 1984年12月27日
所在地 東京都中央区新川1-21-2 茅場町タワー
従業員数 475名
親会社 大日本印刷株式会社 (50.73%*)
資本金 843,750千円
発行済株式数 26,340,000株 株主数 9,808名

株式数比率		株主数比率	
個人・その他	34.56%	個人・その他	98.07%
金融機関	5.73%	金融機関	0.13%
国内法人	51.10%	国内法人	0.54%
外国法人等	5.65%	外国法人等	0.99%
証券会社	2.73%	証券会社	0.25%
自己名義株式	0.23%	自己名義株式	0.01%

*自己株式数を除く発行済み株式数に対する割合



本資料は、当社の会社説明・事業説明に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがありますので、ご注意ください。

株式会社インテリジェント ウェーブ

経営管理本部 経営企画部
E-mail: ir_info@iwi.co.jp

参考) 事業変遷

決済、金融、証券事業にはじまり、2003年には情報セキュリティ事業に参入。2019年からは、新領域拡大、海外展開にも本格的に取り組んでいます



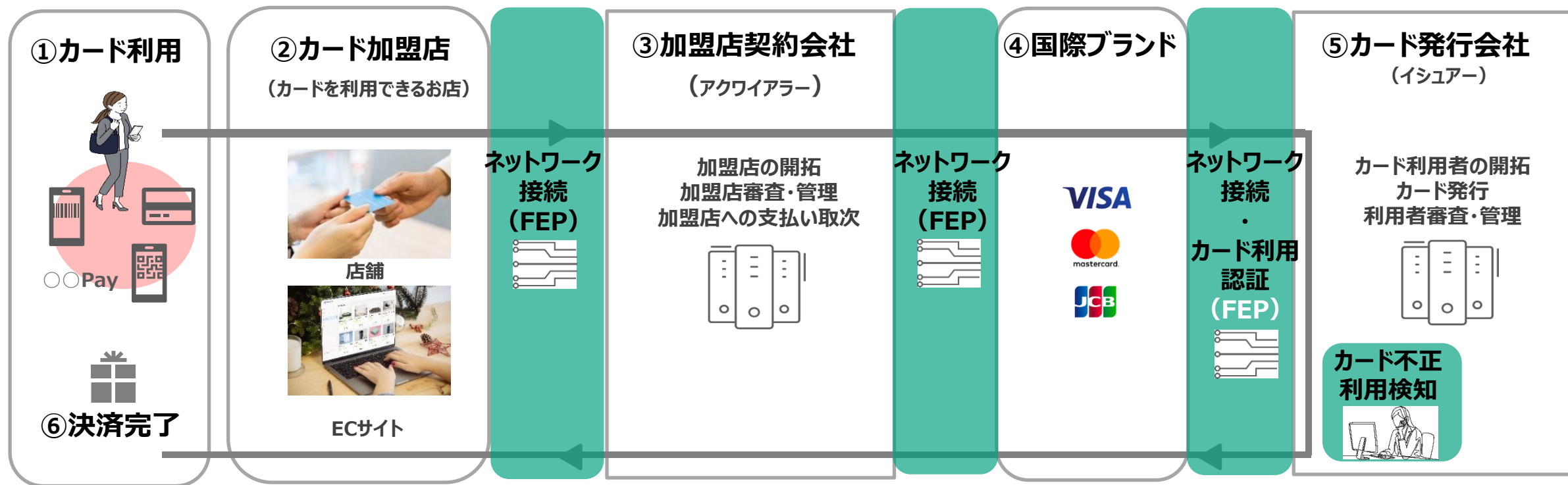
【主な自社製品・サービス】

<p>1989年 決済ネットワーク接続・ 認証システム NET+1 (ネットプラスワン)</p>	<p>1996年 メッセージング ミドルウェア RIX (リックスエージェント)</p>	<p>1999年 カード不正検知 システム ACEplus (エースプラス)</p>	<p>2003年 内部情報漏洩対策製品 CWAT (シーワット)</p>	<p>2019年 放送業界向けIPフロー 監視ソリューション EoM IP FLOW MONITORING (イーオーエム)</p>	<p>2022年 メディアデータ分析ソ リューション AIMD Analyze Intelligence in Media Data (エイムド)</p>	
				<p>2016年~ 決済システムのクラウドサービス IOASIS ■ IFINDS IGATES ■ IPRETS</p>	<p>2022年~ 次世代不正対策 プロジェクト FARIS (ファリス)</p>	<p>2023年 内部情報漏洩 対策製品 CWAT (シーワットクラウド)</p>

参考) キャッシュレス決済の仕組み

クレジットカードやQRコードなどのキャッシュレス決済を利用すると、複数の決済事業者のシステムを通過して決済が完了します。この決済ネットワークの接続やカード利用認証、カード不正利用検知が、当社が強みをもつ領域です

■ キャッシュレス決済の仕組み



※FEPシステム:決済ネットワーク接続・認証システム

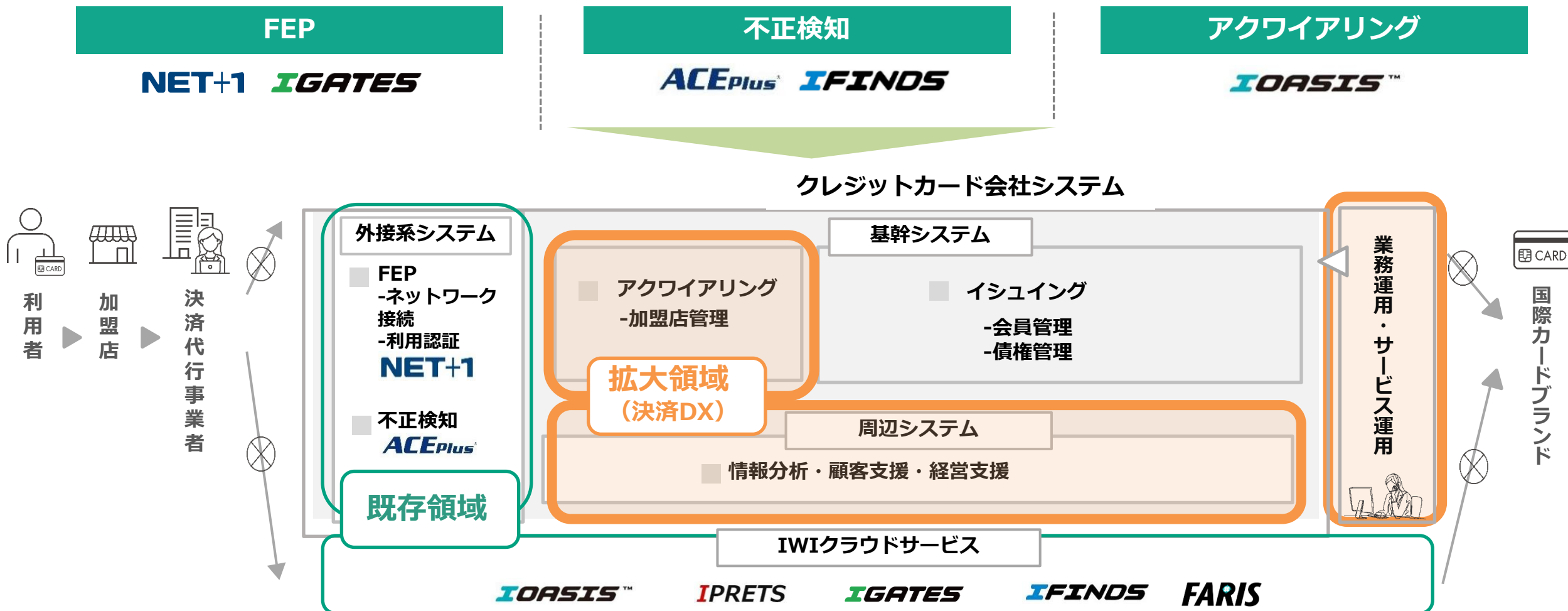
※一部ネットワークおよびデータの流れ等を省略しています。

参考) 当社の決済事業領域

当社は国内トップシェアの製品・サービスをもち、決済事業の領域拡大を進めています

国内トップシェア※の製品・サービス

※当社調べ



参考) クラウドサービス事業について

2016年から決済システムの自社製品（オンプレミス開発）をクラウドサービスにおいても提供し、多様なお客様のニーズに対応しています

■ 自社製品（オンプレミス開発）

NET+1 決済ネットワーク接続・認証システム

ACEplus カード不正検知システム

■ クラウドサービス（2016年～）

IOASIS™ 加盟店契約（アクワイアリング）サービス

加盟店契約会社（アクワイアラー）に、各種決済ネットワーク接続や加盟店売上精算などの業務に必要な機能を一括で提供。中規模カード会社をはじめ、新たに加盟店事業に参入する地方銀行や大手事業会社（通信、小売など）などに導入しています。

IFINDS カード不正検知サービス

カード不正検知システム「ACEplus」の機能をすべて搭載し、中規模カード会社を中心に、月額利用料課金などで導入しやすいサービスとして提供。導入企業間における不正データの共有など、カード不正利用対策を強化する新サービスも順次追加しています。



IGATES 決済ネットワーク接続サービス

キャッシュレス決済を行う決済事業者等に、各種決済ネットワーク接続の機能を提供。決済事業者に加えて、フィンテックベンチャーなど決済業界への新規参入企業を中心に導入しています。